

学校だより



No.7

平成27年7月17日
尼崎市立尼崎養護学校

1学期終わる

44名の児童・生徒でスタートした平成27年度。今日が1学期最後の日です。日々の学校生活では、すばらしい笑顔やがんばりにたくさん出会いました。1学期も市内に勤務する先生や大学生が、勉強のためにこの尼崎養護学校を訪れました。多くの人たちの前でも堂々と勉強する児童・生徒たち。卒業後に向けて会社実習に取り組んでいる生徒、身体が緊張したときに、自分でコントロールして力を抜こうとする生徒。自分の出来るコミュニケーションの方法で、先生たちとのやりとりが上手になってきた児童。自立に向かって、一つ一つの目標を達成しようとする姿をたくさん見ることができ、とても嬉しかったです。2学期もまた、児童生徒の生き生きとした姿に出会えることを楽しみにしています。

1学期の振り返りを

各家庭に持ち帰りました通知表を、お子さんの前で読み上げていただき、今学期の手ごたえを分かち合ってください。学習場面を振り返り、「やり遂げた！」という達成感や「〇〇が分かった！」という自信を培えるように御支援ください。

夏休みを生かした定着・応用を

学校の先生が言う「できる」と一般社会での「できる」は異なるといわれています。校内では、「担任の先生とならできる」、「教室ならできる」、「その教材ならできる」等、さまざまな段階の「できる」があります。いわば、教育的な視点で、一部でもできるようになった部分に着目する見方と、誰が見ても「できる」という見方の2種類あるとすることができます。



これからの夏休みは、学校で新たに獲得してきた「できる」を、どこでも・いつでも・誰とでも「できる」に育てていく絶好の時期です。

例えば、場を替える、時を替える、人を替える（例：お母さんともできる、お父さんともできる）、物を替える（例：別のおもちゃでも遊べる）、色を替える（例：他の色でも選べる）、大きさを

替える（例：小さな物でも摘める）など……。学校で身に付けたことを、日常生活場面での定着・応用をさせていきます。時には、外出先でも、その力を活用してみましょ。こうして、どこでも使える力に強めていくことが、将来の生活の質を高め、行動や生活に幅を持たせることに繋がっていきます。

自立活動学習会への参加 よろしくお願ひします

夏休みに入ると、すぐに小・中学部の自立活動学習会が始まります。児童・生徒・保護者・先生、みんなで勉強する会です。いよいよ夏の暑さも本番。しっかりと身体を動かして、よく食べて、十分な休息をとる。規則正しい生活で夏バテ知らずの身体をつくりたいですね。

小中学部 自立活動学習会 7月21日(火)～24日(金)
高等部 自立活動学習会 8月25日(火)～27日(木)



暑い中 ありがとう

(高等部の頼もしい仲間たち)



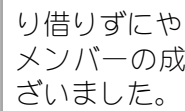
台風の余波で蒸し暑い日がやってきた7月10日(金)に、高等部のキャリア教育の授業で「桜商店」のメンバー3名(今井君・佐藤亜さん・勝部さん)が校長室前廊下の清掃活動に取り組んでくれました。数日前から



校長室に清掃活動の連絡やお知らせの手紙、そして当日は校内電話を使い、清掃活動始める連絡を入れる等、本来の仕事の手順に沿った動きをしてくれました。



1学期「桜商店」はクッキー作りに取り組んでいました。商品を作り、販売し味わってもら。仕事の難しさ、消費者に喜んでもらうことの喜び等を授業を通して学びました。私も試食させてもらいましたが、沖縄の銘菓「ちんすこう」に似た食感と味で、なかなかの出来映えでした。



さて、今回の清掃活動ですが、昨年度実施した時に比べると、隅々まで確認しながら、丁寧に取り組んでいたことに感心しました。

また、先生の手を出来る限り借りずにやろうとする姿もあり、「桜商店」メンバーの成長を感じました。ありがとうございました。

1学期 ありがとうございました

ある介護用ベッドの商品紹介に『背中を支えられると守られている気がする』『背中を押されると元気が出る気がする』といったテレビCMがあります。「支えられる・手を添えられる」ことで安心感や心地よさを感じる。同時に介助される方の視野の中で、笑顔で言葉をかけながら接することで思いが伝わりやすくなる。日々の私たちの関わりに必要なことを伝えてくれるCMです。

1学期ありがとうございました。また、9月からも発行いたしますので、よろしくお願ひいたします。

若草中学校との交流会



7月13日(月)本校中学部生徒と、若草中学校の生徒による交流会が行われました。

本校のスクールバスに乗車し、児童生徒と一緒に登校した若草中学校の生徒たち。校長先生や担当の先生方も駆けつけて下さり、賑やかな交流会がスタートしました。

体育館にてボウリング

ボウリングを始めると、先ほどまでの緊張感も無くなってきたようで、互いに協力しながらゲームは進んでいきました。



楽しい出し物 オンパレード



午後の部は若草中学校から用意された、楽しい出し物が続きました。

けん玉・あやとり・テニス・リフティング、そして全員ダンス等、若草中生徒たちが繰り出す技の数々に、尼養の生徒たちも声援を送っていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。日頃尼養の児童・生徒たちは、大人(教員・介助員等)と関わる機会が多いので、同年代の人たちと過ごした経験はとても貴重です。若草中学校の皆さん、ありがとうございました。



そして、校長先生、引率していただいた先生方、ありがとうございました。